

第7期 次世代リーダー養成アカデミー（第3回）開講

平成29年5月18日(木)、JISA 会議室にて第7期次世代リーダー養成アカデミー(第3回)が開催された。受講者は25名。本アカデミーは、全3回の講座として開催されており、会員各社の次世代を担う人材を対象に、情報共有とコミュニティ形成を行うことで、参加者相互に切磋琢磨し、自らのレベルアップを図ることを目指している。

第3回は、JISA 國井副会長（東京電力ホールディングス株式会社 取締役）を講師に、「イノベーションが求められる社会インフラシステム」をテーマに講演があり、グループディスカッションをおこなった。

講演では、社会インフラシステム構築事例をベースに、発注側受注側それぞれの立場における課題について説明があった。新たな制度や仕組みに対応する社会インフラシステムの構築では、リリース日程の変更が難しいこと、要件定義の変更が多くあることから、段階的にシステムをリリースすることが重要である。また、システムを利用するエンドユーザの視点を考慮することの重要性についても触れられた。



グループディスカッションでは、「社会インフラシステムの構築にアジャイル型でのシステム開発をする際の課題」について、また、「社会インフラシステムの保全コスト低減にむけた具体策」について検討し、講演内容の理解をより深めた。

■女性活躍支援ミーティング■

次世代リーダー養成アカデミー（第3回）に先立ち、講師である國井副会長のリードで「女性活躍支援ミーティング」がおこなわれ、アカデミー受講生より8名（女性7名、男性1名）が参加した。

ミーティングでは、近年、男女の差を感じることなく仕事をすることができる環境が整いつつあるとあった。一方で、女性が出産・育児といったライフイベントを経て復職すると、キャリア形成の機会が男性との差が出てくるとの指摘もあった。女性がより活躍するためには、女性自身がネゴシエーションする力やロールモデルを見つけることの大切さを確認した。また、介護や障害など、男女関係なく「働き方改革」の必要性も挙げられ、幅広い議論をおこなった。

(大原)